



北長瀬の風

ご自由にお持ち帰り
ください
無料



今城健二院長が
岡山市立総合医療センター
新理事長に就任しました

Contents

- 岡山市立総合医療センター 理事長就任のごあいさつ
- 〈循環器内科特集〉
そのときに、頼れる循環器内科があります。
- 新任医師のご紹介
- 知っ得!感染症!
『マダニ関係の感染症にご用心!』
- 南風～せのお病院だより⑨～
- 連携医療機関の紹介『寺見内科医院』
- 市民病院Topics

2026年4月1日、 岡山市役所で任命式が執り行われました

2026年4月1日、当院の新しい理事長として今城 健二院長が就任いたしました。就任にあたり、同日、岡山市役所にて岡山市長による任命式が執り行われ、正式に理事長としての辞令が交付されました。

今城新理事長は、これまで院長として当院の運営に尽力してまいりました。今後は院長職を兼務しながら理事長としての責務も担い、より一層地域医療の充実と病院運営の強化に取り組んでまいります。

地域を支え、 未来へつなぐ医療を

地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター 理事長
岡山市立市民病院 院長
いまじょう けん じ
今城 健二



このたび地方独立行政法人 岡山市立総合医療センターの理事長に就任いたしました。院長としての経験を糧に、法人全体のさらなる発展へ向けて誠心誠意取り組んでまいります。当法人は、公立病院として岡山市の医療政策に基づき、地域に必要とされる医療を安定して提供する使命を担っています。民間では手が届きにくい医療も含め、市民の皆様がいざという時に頼れるセーフティーネットとしての役割を果たすことこそが、私たちの原点です。

少子高齢化が進む中、国が推進する地域包括ケアシステムのもとで、急性期から回復期、在宅療養まで切れ目のない医療体制の構築が一層強く求められています。こうした時代の変化に応えるべく、当法人では各病院の機能を生かした連携をさらに強化し、治療後の回復支援から在宅復帰への橋渡しまで、地域全体で患者さんを支える体制づくりを進めています。

公立病院としての役割は、日常の医療にとどまりません。救急・周産期・小児医療を安定的に担うことはもちろん、災害時の医療拠点としての備えも継続して充実させています。また、手術支援ロボット「ダヴィンチ」をはじめとする先進医療の導入により高水準の治療環境を整えるとともに、次代を担う医療人材の育成にも力を注ぐことで、質の高い医療を将来にわたって守り続けたいと考えています。

市民の皆様にも長く信頼される病院であり続けるため、職員一同力を合わせてまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



金川病院の法人への一体化の検討・手続が進んでいます

2027年4月(予定)より、市立金川病院は地方独立行政法人岡山市立総合医療センターのもとで運営される方針で検討・手続が進んでいます。市民病院・せのお病院に金川病院が新たに加わることとなれば、岡山市北部地域の皆様により身近な医療をお届けできる体制が整うこととなります。急性期から在宅復帰まで、法人全体でつながる医療ネットワークが一層充実し、どの地域にお住まいの方も安心して医療を受けていただける環境を目指してまいります。引き続き、地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

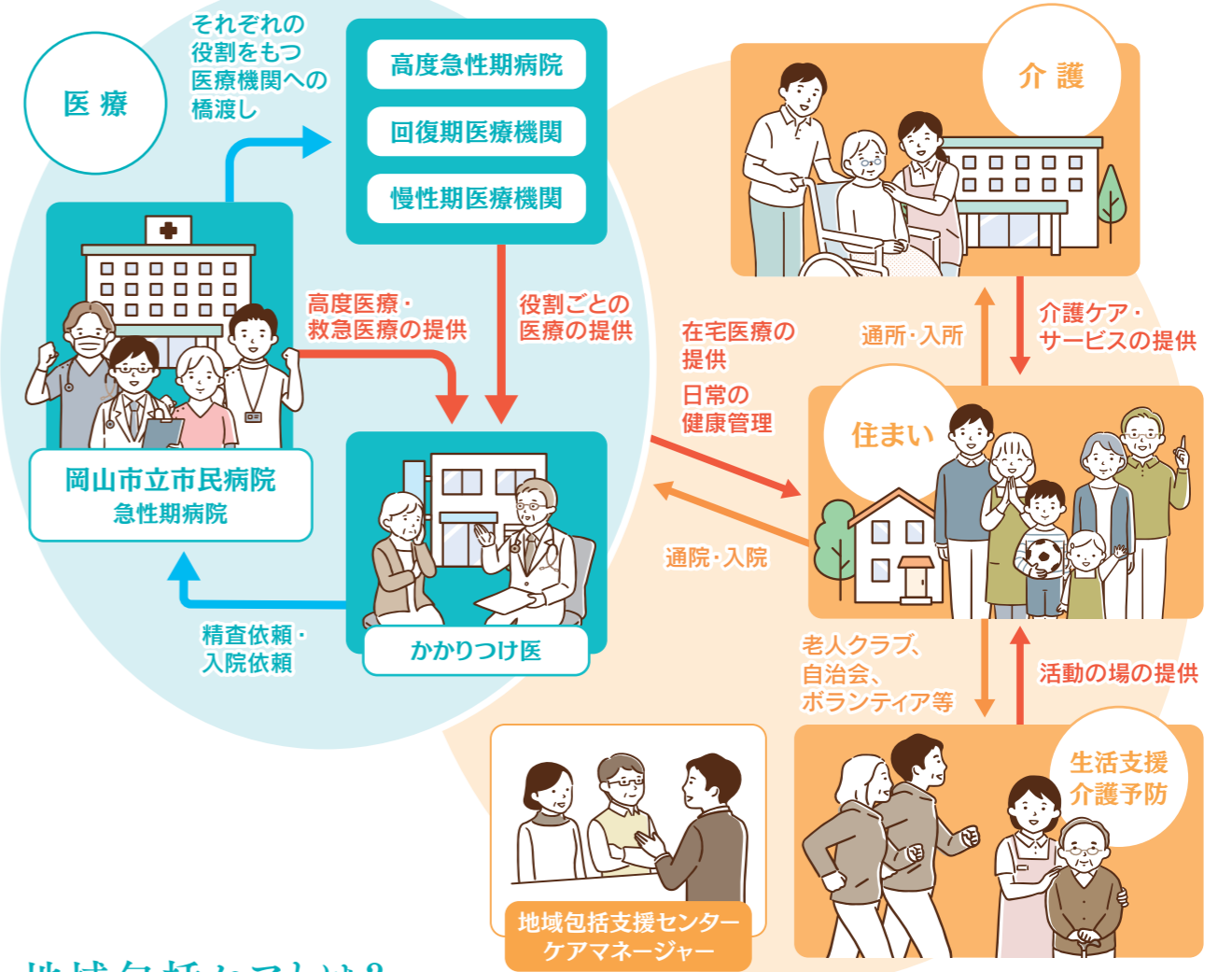


岡山市立せのお病院

「支える医療」を地域の現場でかたちに。

当院では、「地域包括ケア」の考え方のもと、様々な医療機関や介護施設と連携しながら、患者さんを地域全体で支える取り組みを進めています。

地域包括ケア



地域包括ケアとは？

「住まい」「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」の5つの要素が包括的に提供される仕組みのことで、病院で治療を受けるだけでなく、退院後のリハビリテーションや在宅療養、介護サービス、日常生活の支援までを切れ目なくつなぎ、地域全体で患者さんやご家族を支えていくことが求められています。

当院は、「医療」の要素の中でも急性期医療を担う病院として、救急や高度医療を提供するだけでなく、かかりつけ医や訪問看護・介護、介護施設、回復期病院などと連携しながら、退院後の生活も見据えた支

援を行っています。患者さんが安心して元の暮らしに戻れるよう、多職種が連携し、一人ひとりに寄り添った医療を心がけています。

当院のスローガン「この町であなたと生きる 岡山市立市民病院」が示すように、私たちは病気やけがの治療だけでなく、地域で暮らす皆様の生活や人生に寄り添う医療を大切にしています。地域包括ケアの時代において、一人ひとりが安心して暮らし続けられるよう、これからも地域とともに歩む病院を目指してまいります。

そのときに、 頼れる循環器内科が あります。



突然の胸の痛みや息切れなど、心臓の不調は早急な対応が重要です。当院では、いつでも頼れて切れ目なくサポートできる体制を整えています。

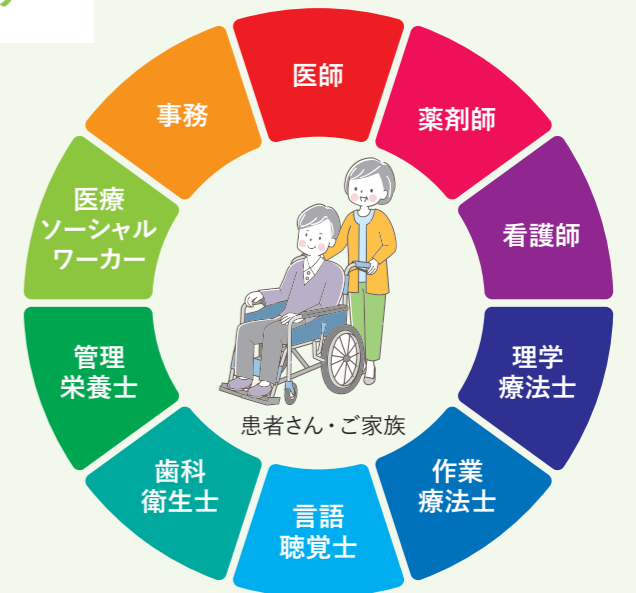


頼れるPOINT

治療のその先までしっかり支えます

心臓リハビリテーションとは？

心臓リハビリテーションとは、心臓病の患者さんが安心して日常生活に戻れるよう、運動療法や生活習慣、食事や服薬指導を行う治療プログラムです。体力や息切れを改善し、心不全の進行や再入院を防ぎながら、より元気で長く過ごせる事を目指します。当院では、さまざまな職種のスタッフが連携し、心不全入院中の急性期から退院後の慢性期まで、個人の心肺機能に応じた運動療法を提供しています。



安心して取り組めるサポート体制

〈当院の特長〉
受診から退院後まで、切れ目なく

入院中から始まる リハビリテーション

患者さんの状態に合わせて、入院後早期から運動療法などのリハビリテーションを開始します。早期のリハビリテーションは、合併症や筋力低下の予防につながり、回復を後押しする大切なプロセスです。

多職種で支える 安心の体制

医師、看護師、理学療法士、管理栄養士など、さまざまな職種のスタッフが連携しながら患者さんをサポートします。また、心不全の発症や重症化を防ぐための療養指導を行う専門資格「心不全療養指導士」を持つスタッフも16名在籍しており、退院後の生活まで見据えた支援を行っています。

一人ひとりに合わせた プログラム

症状や体力、生活環境、目標は患者さんによってさまざまです。当院では、一人ひとりに合わせたプログラムを作成し、無理なくリハビリテーションに取り組めるよう支援しています。また、心臓の病気は、原因を放置していると高い確率で再発を繰り返します。退院後の生活や自己管理がとても大切になるため、身体の回復だけでなく、再発予防や安心して日常生活を送るための生活指導も行っています。

頼れるPOINT

24時間365日対応

- 休日・夜間を問わず循環器救急の受け入れに対応しています
- 循環器内科医師が24時間常駐、迅速な診断・治療につなげられる体制を整えています
- 医療機関からの搬送には、循環器内科医が同乗する「モバイルER」でお迎えし、搬送中から専門的な対応を行います

頼れるPOINT

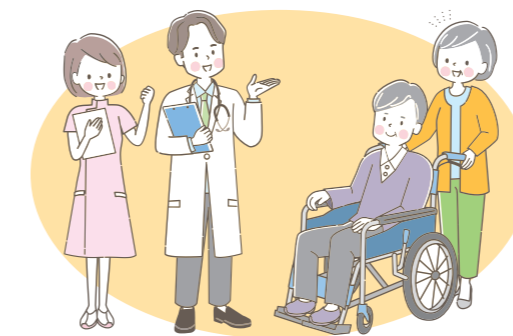
スムーズな診断・治療

- 必要な検査を院内で速やかに行い、症状に応じて迅速な診断・治療につなげています
- カテーテル治療 (IVR) にも対応しており、緊急時には入院のうえ継続した治療を行うなど、患者さんの状態に合わせた医療を提供しています

頼れるPOINT

治療だけで終わらせません

- 手術や入院治療だけでなく、入院中から心臓リハビリテーションを開始し、運動療法に加えて、退院後の生活に関する指導や相談、かかりつけ医との連携、定期的なフォローアップまで、回復や再発予防を見据えた継続的なサポートを行っています

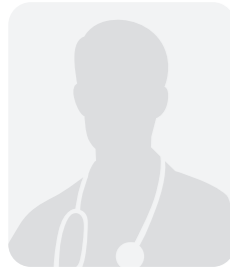


安心して日常生活に戻るために

受診から退院後、日常生活に戻ってからも、定期的な検査やリハビリテーションで手厚くフォローを継続します。生活や退院がゴールではなく、その後の生活を見据えた支援を大切に、みなさんが日々を安心して過ごせるようにかかりつけ医と協力しながら支え続けます。

新任医師のご紹介

4月に着任された総勢31名の医師をご紹介します。



救急科副医長
小田 裕太
おだ ゆうた



整形外科副医長
梶木 裕矢
かじき ゆうや



麻酔科副医長
成谷 俊輝
なりたに としき



消化器内科副医長
塩田 祥平
しおた しょうへい



小児科副医長
禅正 和真
ぜんしょう かずまさ



消化器内科副医長
藤田 莉緒
ふじた りお



外科副医長
石村 昂誠
いしむら こうせい



総合内科副医長
福島 伸乃介
ふくしま しんのすけ



脳神経内科医員
越智 俊樹
おち としき



整形外科医員
中嶋 健裕
なかしま たけひろ



糖尿病内科医員
横山 将
よこやま しょう



消化器内科医員
太田 葉名
おおた はな



消化器内科医員
原田 潤
はらだ じゅん



膠原病・リウマチ内科医員
小池 裕子
こいけ ゆうこ



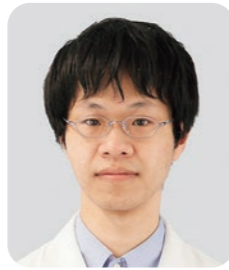
消化器内科医員
佐藤 雅信
さとう まさのぶ



形成外科医員
寺尾 圭祐
てらお けいすけ



脳神経外科医員
中平 壮力
なかひら たけちか



血液内科医員
縄田 智宏
なわだ ともひろ



消化器内科医員
新堀 樹
にいほり たつき



膠原病・リウマチ内科医員
物部 祥子
ものべ しょうこ



呼吸器内科医員
山本 千智
やまもと ちさと

研修医
岩崎 亮太
いわさき りょうた

研修医
金子 怜奈
かねこ れいな

研修医
河田 瀬里香
かわた せりか

研修医
小武守 伸吾
こたけもり しんご

研修医
小柳 文乃
こやなぎ ふみの

研修医
永野 貴士
ながの たかし

研修医
新山 巧
にいやま たくみ

研修医
松崎 臣吾
まつざき しんご

研修医
三澤 一華
みさわ いちか

研修医
宮崎 将司
みやさき まさし

よろしくお願ひいたします

知っ得！感染症！

岡山市立市民病院
感染管理室

マダニ関係の感染症にご用心！

Q. マダニって何？

A. 家の中にいるダニとは異なる節足動物で、山や草むらに生息しています。普段は3mm程度と非常に小さいですが、血を吸うと10mm程度の大きさに膨らみます。ウイルスや菌を持っていることがあり、刺されると人が感染症にかかる危険があります。

マダニの吸血前後の変化

吸血前



約3mm

吸血後



最大10mm以上

Q. 刺されるとどうなるの？

A. 岡山県でも毎年発生がある「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」などの感染症を起こすことが

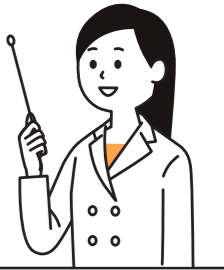
あります。重症化すると命に関わることもあるため、適切な治療が欠かせません。刺された後、数週間程度は高熱や赤い発疹に注意し、症状が出たら速やかに受診してください。医師に野外活動の履歴を伝えることも大切です。

Q. どのように対策すればいいの？

A. 山や草むらに入る時、草刈りや野外活動の時は、長袖・長ズボン、足を覆う靴で肌の露出をなくし、虫よけスプレーを使用しましょう。マダニを見つけやすい明るい色の服も有効です。活動後はすぐに入浴し、体に付いていないか確認してください。

Q. もし刺されていたら？

A. 絶対に自分で無理に引き抜かないでください。マダニの一部が皮膚に残って悪化することがあります。触らずそのままの状態を、医療機関を受診して取ってもらいましょう。



南風

MINA-KAZE
～せのお病院だより～

地域とともに歩む、
せのお病院
～妹尾・箕島
ふるさとさくら祭り～

岡山市立せのお病院院長
臼井 正明

せのお病院
ブース



せのお病院は、地域のイベントに積極的に参加しています。今年の4月5日に「第35回妹尾・箕島ふるさとさくら祭り」が妹尾公園一帯で開催されました。当院も「健康相談」をテーマに出店し、健康相談ブースで「血圧・酸素飽和濃度測定」「ロコモティブシンドローム」「血糖値測定」「脳年齢・血管年齢測定」「自動視力計」のコーナーを設けました。70人を超える市民の皆さんがさまざまなブースを体験されました。付き添いやご家族の方々も含め多くの方々を訪れ、楽しんでいただける場となりました(写真)。また、

秋には西ふれあいセンターが主催する「ふれあい祭り」にも出店しています。

さらに、せのお公民館で市民健康講座を毎月行っています。医師、看護師をはじめ栄養士、薬剤師、リハビリスタッフや放射線技師など多職種で分担しています。

せのお病院は、一般診療以外に地域の健康増進に少しでも貢献したいと考えています。せのお病院は、「地域とともに歩み、信頼されるあたたかい病院」を目指しています。

外来について

外来診療受付時間

[初診]8:30～11:00
[再診]8:30～11:30 及び 12:00～15:30

自動再来機での受付

(予約のある方)7:45～16:30

- ただし、急患の場合はこの限りではありません。
- 担当医は都合により変更になることがあります。
- 予約がない方の受付は8:30からになります。必ずしも受診できない場合があります。

外来診療担当についての最新情報は
右の二次元コードよりホームページをご確認ください。



市民病院連携医療機関の紹介  地域の「かかりつけ医」として、当院と連携をとってくださっている医療機関をご紹介します

寺見内科医院

内科・糖尿病内科・消化器内科・循環器内科・リウマチ科・呼吸器科

当院は先代によって昭和55年に岡山市北区中仙道で開院しました。現在は院長の寺見隆宏と副院長の寺見桃子の2名で診療を行い、子供から大人まで幅広い世代から相談しやすい「かかりつけ医」を目指しています。



寺見 隆宏院長(右)と寺見 桃子副院長(左)

内科を中心に診療していますが、内科以外の病気で、まずは一度診させていただき、専門科への紹介や簡単に解決するものであれば治療させていただきます。専門の糖尿病については、検査の結果や治療薬について分かりやすく、丁寧に説明することをモットーとしています。岡山市立市民病院は当院から車で5分程度と最も近い総合病院であり、緊急時や一般の紹介にも快く対応していただける頼りになる病院です。これからもみなさんの健康維持にお役に立てるように、協力してより良い医療環境づくりに取り組んで参りますので宜しくお申し上げます。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	休
15:00~18:30	○	○	○	○	○	休	休

休診日：土曜午後、日曜、祝日

〒700-0964
 岡山市北区中仙道58-122
 TEL:086-243-7115
 URL: <https://www.teraminaika.jp/>



市民病院Topics

フォーミュラー（医薬品使用方針）推進に関する合意書を締結

岡山市立総合医療センター（岡山市立市民病院・岡山市立せのお病院）は、岡山大学病院、島根大学病院、岡山赤十字病院と共に、医薬品の安定確保を目的とした合意書を締結しました。全国的に医薬品の供給不足が続く中、患者さんが必要な薬を確実に受け取れる体制づくりが急務となっています。今回の連携は、複数の大学病院と地域の基幹病院が協力する、全国でも稀な広域モデルです。岡山で培われた共同調達のノウハウに、島根大学病院の知見が加わることで、県境を越えた新しい医薬品供給ネットワークが生まれます。



 **YouTube**
岡山市立市民病院
公式チャンネル
 好評配信中
 ぜひご視聴ください!

動画視聴はこちら 

岡山市立市民病院
LINE公式アカウント
友だち募集中

友だちになると…
病院情報が簡単に確認できます!
 外来診療担当表 休診のお知らせ
 イベント情報 広報誌 等

友だち登録はこちら 

@960tcltv 

ACCESS MAP

岡山市立市民病院までのアクセス

- JR** 山陽本線で岡山駅から北長瀬駅まで約4分(北長瀬駅より徒歩1分)
- バス**
 - 岡山駅より北長瀬駅前まで約22分 ●天満屋より北長瀬駅前まで約16分
 - 岡電バス・下電バス・両備バス共同運行 時刻表はホームページをご覧ください
 - 岡山駅から約4km、約10分 ●山陽自動車道岡山ICから約8km、約20分
 - ※車・タクシーをご利用の方は病院西側へお越しください。駐車場があります。
- 車** 外来受診の方は入場後6時間まで無料、以降30分100円
 お見舞い・一般来院者は30分100円

